

## 10601パルプ・紙製造業における死傷災害事例(最大99事例まで) (2020年)

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2020	1	14 ～ 15	工場で構成作業中にシートで足を滑らせ体勢を崩し、フォークリフトの爪部分に腰を強打し、尻もちをつき第四腰椎を骨折した。	70	1	416	30～ 49
2	2020	2	10 ～ 11	工場内で、クレープ紙の抄紙作業中、お腹が痛くなり意識を失い倒れた。その際、防水用の鉄柵の角に左前頭部を打ち挫傷を負い、頸椎を捻挫した。	52	3	419	1～9
3	2020	3	15 ～ 16	荷降ろし場でワゴン車内から段ボールケースを前屈みの体勢で手前に引き寄せようとした際、脇に積んであった段ボールケースに干渉してしまい、上段が崩れて段ボールケース1束が落下して、首の後部に当たって頸椎捻挫を負った。	33	5	529	50～ 99
4	2020	3	18 ～ 19	化粧用コットン外装製函機の所定位置に、材料の入った段ボール箱（50cm×30cm×20cm、重さ約10kg）を置こうと、装置前にある2段ステップの3段目に足を掛けたところ、段ボール箱で足下が見えずにステップを踏み外した。その際、後方に体をひねる形で転落し、左腕、左脇腹、左膝、右踝に捻挫を負った。	36	1	413	50～ 99
5	2020	3	10 ～ 11	抄紙機で紙切れが発生したので、再度抄き出し作業を開始して平通しで通紙をした。その後、カッターで切断しながら紙通しをしようとしたところ、ロールの間に右手が巻き込まれ、薬指を骨折し、圧挫傷を負った。	24	7	163	50～ 99
6	2020	3	13 ～	国道を走行中、左側にある道の駅から1台の工事車両が右折して対向車線に入った。その直後、2台目の工事車両が飛び出してきて、	22	17	221	10～

			14	避けようとしたが間に合わずに衝突し、頸椎と腰椎を捻挫し、左膝を打撲した。				29
7	2020	3	18 ～ 19	加工工場内で、印刷機の機械運転中、版ロールとセンタードラムのインク汚れをゴム手袋着用で除去した際、回転体に巻き込まれた。その際、右環指を切断し、右中指に挫創を負った。	31	7	163	10～ 29
8	2020	3	9 ～ 10	製紙工場内で紙出し助手作業中、急いで階段を下りて足を滑らせ落下し、咄嗟に手をつき、前頭を打撲した。	54	1	413	10～ 29
9	2020	4	13 ～ 14	工場内で、2号プライマシンの印刷ロールバット内のインクを入れ替える作業をしていた。機械本体は止めていたが、インク交換のためロールは回っていて、インクを受けるバット皿の残りを手で排出していたときに、ロールとバット皿の間に左腕肘から下を挟み、左前腕部筋挫傷、左尺骨茎状突起骨折を負った。	26	7	166	50～ 99
10	2020	4	7 ～ 8	段ボールをスリッター機械で断裁している最中、右指先を送りロールに挟まれ、右手人差し指、中指、薬指に挫滅傷を負った。	30	7	391	30～ 49
11	2020	4	17 ～ 18	1号機でシャフト入替作業中、1名はリフト操縦、別の作業員は固定装置で作業に従事し、リフト操縦者が右手が上がったのを合図と思い、バックした。その際、リフト左前輪が被災者の右足に乗り上げ、右足第4指を骨折した。	51	7	222	100 ～ 299
12	2020	4	2 ～ 3	段ボール結束紐を専用カッターで切る作業中、右手に持っていた専用カッターの刃が右手親指と人差し指の間に入り、切創を負った。	52	8	364	100 ～ 299
13	2020	4	11 ～ 12	設備整備作業中、ボルトを持っていた左手とシャワー固定用アングルの間に挟み、左示指を骨折した。	46	7	169	100 ～ 299
			17	搬送コンベアの高さ調整用ボルトのネジ山にズボンの裾が引っ掛				100

14	2020	5	18	かり、バランスを崩し左手をフライト部ガイドとフレームの間に挟み、左手人差し指先端を開放骨折した。	37	2	169	～ 299
15	2020	6	10 ～ 11	抄紙機マシンチェストで、回流機のVベルト取り替え作業をしていた際、ねじれて入り込んだVベルトを直そうとしたところ、Vベルトとモーターのプーリー間に右手示指を挟んで切断した。	52	7	121	100 ～ 299
16	2020	7	13 ～ 14	石灰焼成キルンの炉内コーチング（石灰塊）を除去するため、炉内で斫り作業中、上部の石灰塊が崩れて右肩に落下し、肩甲骨を折った。	58	4	349	1000 ～ 9999
17	2020	7	3 ～ 4	製紙工場ドライヤーフードの洗浄作業中、タッチロールを毛布で養生中、洗浄用ロールブラシに毛布が巻き付いたので取り除こうとした際、約150℃の熱を持ったドライヤーとロールブラシの間に、右手親指以外の4指が5秒程度巻き込まれ、熱傷を負った。	40	11	169	30～ 49
18	2020	8	15 ～ 16	古紙倉庫内で古紙ベールの番線を切る解体作業中、クランプリフトと人との共同作業になり、番線が外れず、クランプリフトに引っ張られて転倒し、クランプリフトの前輪に轢かれて、内臓を損傷、左上肢を骨折した。	40	7	222	50～ 99
19	2020	8	14 ～ 15	工場印刷機の機械セット終了後、開閉移動式ユニットを閉める際、ユニットとユニットの間に左手を掛けていた状態で、右手で開閉スイッチをひねりユニットを閉めて、左手親指（手袋着用）に裂傷を負った。	37	7	166	10～ 29
20	2020	8	14 ～ 15	工場、カレンダーロールのニップ圧測定のため、徐動運転中、直接接触診を行った際、右手人差し指と中指をロールに挟み、右人差し指を開放骨折し、右中指に挫滅を負った。	49	7	169	100 ～ 299
21	2020	8	10 ～ 11	計量コンベア上の古紙の番線を切り、引き抜く際、腰を痛め、椎間板ヘルニアを発症した。	47	19	379	50～ 99
			18	NBKP連釜前の原料を避けようと設備（高さ約10cm）に右足を掛				300

22	2020	9	19	けたとき、バランスを崩して足首をひねり、第5中足骨を折った。	58	19	419	～ 499
23	2020	10	10 11	N6マシンワインダー、No.9ライダーロールモーター交換によるリード線切り放しのため、No.8ライダーロール上にあゆみ板を設置し、安全帯を使用してリード線を切り放した。その後、機外へ移動する際に安全帯を取り外して動き出したときに、バランスを崩してライダーロール脇の開口部より3.86m下のフロアに転落して、頭部に裂創を負い、胸椎を骨折した。	46	1	163	～ 999
24	2020	10	22 23	トイレトペーパーの損紙を、フォークリフトで溶解パルパーに入れる際、何かが引っ掛かり、鉄のカバーが倒れた。フォークリフトのツメを利用してカバーを起こしたが、損紙がカバーに引っ掛かっていたので、損紙を処理しているときに、カバーが再び倒れ、足を挟み、右足甲を骨折した。	61	5	379	～ 299
25	2020	11	14 15	1階通路で、仮置きされた荷物（55kg）を1人で移動する際、荷を地面に下ろすときに腰に激痛が走り腰椎捻挫を負った。	32	19	611	100 ～ 299
26	2020	12	9 10	抄紙機ウエットパートのドレンタンク内部を洗浄するため高圧水ホースを使用していた。作業はホース先端ノズル部を持ち、マンホールから手を入れて行う。顔はタンク外側にありマンホールより内部を眺めていた。その際にホースを持っていた手元操作を誤り、洗浄水がタンク内部よりマンホールを通じ外側に噴出し、被災者の右目に当たり、右外傷性前房出血、外傷性紅彩離断を負った。	50	4	713	100 ～ 299
27	2020	12	16 17	作業場で、検量物（1～2kg）を検量中、持ち上げた際に激痛が走り、腰椎を圧迫骨折した。	64	19	611	10～ 29
28	2020	12	18	屋外トイレから出る際、出口と道路との境界段差（約5cm）でつ	60	2	417	100 ～

			19	まずいて転倒し、右上腕骨と肋骨を折った。				299
29	2020	12	18 ～ 19	工場内で、新聞用紙の規格外品を水に溶かして原料に戻す作業中、回転している新聞巻き取りの間に頭部を挟まれ、脳挫傷で死亡した。	41	7	163	50～ 99

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.html](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html)(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害事例\(最大99事例まで\) \(2020年\)](#)に戻る。